

柔道専門分科会企画

テーマ「子供（小学生）の柔道指導について」

講師（予定）：岡田弘隆（筑波大学人間総合科学研究科 准教授）

小川直也（小川道場 道場主）

溝口紀子（静岡芸術文化大学 准教授）

司会：木村昌彦（横浜国立大学 教授）

日時：平成24年9月7日（金）13：00－15：00

場所：東京農工大学 小金井キャンパス 講義棟 C会場 1階 0013 教室

柔道は子供の成長や躰などの面から保護者などから大いに期待され、各地の道場において日夜稽古が行われている。これらの道場においては、独自の方針にしたがって育成がなされている。本シンポジウムは、現在指導に携わっておられる方々の体験を通して指導方針や指導上の問題点などを聞くことで、子供の柔道指導の在り方について活発な議論がなされることを期待しております。

剣道専門分科会企画

テーマ 「あらためて、剣道具を考える」

- 講師： 1. 剣道具の歴史研究から
中村民雄氏（福島大学）13:40～14:00(20分)
2. 剣道具の実証的研究の立場から
百鬼史訓氏（東京農工大学）14:00～14:20(20分)
3. 剣道具製作者の立場から
森下捷三氏（全国剣道具職人会代表）14:30～15:00(30分)
4. 質疑応答 15:10～15:50（40分）
- 司会： 大保木輝雄氏（埼玉大学）

日時： 平成24年9月7日（金） 13:30～16:00

場所： 東京農工大学 小金井キャンパス 講義棟 B会場 1階 0012教室

内 容

平成24年度から全国のすべての中学校で武道必修化となり、剣道では、授業の内容や運営に様々な工夫と試みがなされています。そのような中、指導現場では、これまで言われてきたことを、あらためて確認したいとの声が出てまいりました。

一昨年度は、武道（剣道）における「礼（法）」の意義や伝統性について、弓馬術礼法小笠原教場31世宗家・小笠原清忠先生から講演いただきました。また昨年は、「剣道の固有性を考えるー海外における学習者が剣道に求めるもの（長期滞在指導者の経験を通してー）」と題し、塩入宏行先生、本多壮太郎先生からお話をいただきました。

今年度は、あらためて剣道具（小手、面、胴、垂れ）について考える企画です。剣道具は、身体を防護する、有効打突部位、伝統的な美術品など様々な側面をもっております。武道必修化にあたり、授業ではじめて経験する生徒が使用する剣道具の安全性は保証されているのか、文化性や伝統性といった点を考慮しつつ、将来どのような製作をすすめてゆくのか、剣道具のクリーニングやメンテナンスはどのようにすれば良いのかなどについて、考えることとします。

なお本企画は、公開シンポジウムとしますので、会員の方以外のご参加も歓迎いたします。

空手道専門分科会企画

テーマ「空手道の国際化」

空手道の国際化における諸問題

演者：豊嶋 建広（麗澤大学）

司会：嘉手苺 徹（早稲田大学大学院）

日時：平成24年9月7日（金）13:30-15:30

場所：東京農工大学 小金井キャンパス 講義棟 A会場 1階 0011 教室

現在、世界空手連盟（World Karate Federation）に所属する国・地域は184にのぼり、空手道の国際化はだれしもが認めるところである。しかし国際化に伴い、ルールが変わり、競技や練習内容も大きく変化してきている。

そこで、北米を中心に空手道が国際化する中で引き起こされる諸問題の原因について、異文化理解の視点から検討した。

弓道専門分科会企画シンポジウム

テーマ「肩甲帯の技術を探る」

ー上腕骨、肩甲骨、鎖骨、胸郭の筋骨格系と射技ー

演者：1. 運動学から見る射法の筋骨格系

佐藤 明（東北大学）

2. 射技と肩甲帯のバイオメカニクス

井出敦夫（東京大学赤門弓友会）

3. 質疑応答

司会：加賀 勝（岡山大学）

日時：平成24年9月7日（金）13:30-16:00

場所：東京農工大学 小金井キャンパス 講義棟 2階 0025 教室

内容 諸流派における伝書・口伝等によって継承されている
射法・射技を医学的な見地を含め探る